



第3回教育担当者研修を開催しました

教育・研修・看護実践支援部門

教育担当者研修では、新人看護職員教育における教育担当者としての役割を果たすことができる能力を養うことを目的に、年間6回の研修を実施します。12月18日に実施された第3回目の研修では、看護学部 吉田和美教授から「実地指導者への支援」をテーマに成人学習者の特徴や指導・支援方法についての講義があり、受講生は熱心に聴講していました。

講義を受けた後、共通の目標達成におけるコミュニケーションの重要性を体感しました。中でもグループごとでブロックタワーを正確に完成させる演習では、楽しんで取り組み、大いに盛り上がっていました。受講生からは、「演習を通して、同じ目標値に向けて協働すること、その中でのコミュニケーション方法の難しさや必要なことが確認できた」「個人の認識の差に配慮できず、言語化の難しさを再認識した」との声がありました。



2024年度 1回の研修における受講対象者数

研修名 (開催回数)	管理者 (4回)	副師長 (2回)	教育担当者 (6回)	実地実習指導者 (3回)	実地指導者 (4回)	シスター・プラザ (4回)	計
附属病院	37	45	22	21	22	41	188
総合医療センター	21	21	16	15	14	25	112
香里病院	12	9	6	4	5	5	41
くずは病院	5	3	1	0	2	9	20
看護キャリア開発センター		2					2
計	75	80	45	40	43	80	363



第1回 個別相談会(10月開催)のご紹介

看護研究支援部門

2024年度看護研究個別相談会を附属の4病院で開催しました。

	8/8くずは病院	10/11香里病院	10/18附属病院	10/25総合医療センター	計
参加人数	2組(6人)	5組(11人)	3組(5人)	5組(16人)	15組(38人)

相談会は和やかな雰囲気の中で行われ、相談者は、どうしたらよい看護ができるのかと真剣に考え参加していました。相談後は「困りごとを解決する糸口が見つかった」「貴重な助言をもらえ、方向性が見出せた」「初歩的な質問をしてもよいのか悩んだが、丁寧に指導してもらえた」「管理者としてスタッフをやる気にさせる対応等も学ぶ機会になった」「自分の考えていた内容が研究に繋がることがわかり自信になった」「定期的な相談の場が欲しい」等、前向きな意見がありました。

当相談会は1月・2月にも継続して行い、研究のモチベーションを維持できるように支援します。3月1日にはオンラインで第2回セミナー看護管理者向けを開催しますので、是非ご参加ください。お申し込みをお待ちしております。



附属病院の
様子

講師：看護学部 近藤教授
附属病院 大石看護副部長(CN)
松森管理師長(CN)

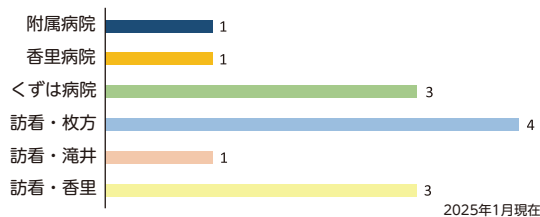
第8期関医・看護師リカレントスクールを終えて

看護師就業・復職支援部門

第8期関医・看護師リカレントスクールは10月に10名の受講生を迎え、2ヵ月間の講義・演習、見学実習等を経て、全員が修了しました。

和気あいあいとした雰囲気互いに相談し励ましあいながら、学びを深めることができました。アンケートからは、「スクールに携わる講師にとっても熱心に指導いただきありがたかった」「学び直しの機会に感謝している」「知識や技術など学習面だけでなく、他の受講生と出会い、刺激や勇気をもらった」等の声が聞かれました。「スクールを通して新しい一歩を踏み出すよう励ましてもらったので、これから復職に向かって行動する」という強い思いを胸に、それぞれが、新たなキャリアに向かって歩み始めました。修了後すぐに復職が決定したという嬉しい報告もありました。

1～8期リカレント修了生 就職状況
(関西医科大学関連施設)



2025年1月現在

お知らせ

●看護キャリア開発要綱第2版
3月末配布予定

各部署に配布いたします。ぜひお手に取りご覧ください。

看護キャリアNews Letterの
バックナンバーはこちら ▶



お問い合わせ、ご意見、ご連絡先

関西医科大学 看護キャリア開発センター
(枚方キャンパス医学部棟10階)

メールアドレス

NCDC@hirakata.kmu.ac.jp

ホームページ

https://www7.kmu.ac.jp/ncdc/

【理念】

慈しみめぐみと愛を心の規範として、学生からすべての看護職のキャリアを支援する。

